

# 1 センターサイディング標準施工法

## 1-4 耐風圧性能

センターサイディングを木下地、鉄骨下地に施工した際の外壁の耐風圧性能について、動風圧試験で下記のとおり確認しています。下表耐風圧性能から、各建築地の基準風速および建物高さなどより、安全性をご確認ください。

- 下表の値は測定値(破壊:負圧)です。施工状況で変わることがありますので、設計に際しては適切な安全率を見込んでください。推奨安全率=1.6以上 (平成19年国土交通省告示第834号より)  
必要耐風圧性能が不足する場合は補強工法での施工となります。補強工法はP7~8をご確認ください。

破壊:負圧、単位:Pa

芯材	働き幅	厚み	型名	製品名	木下地 (@500)	鉄骨下地(直張り) (@610)	
イソシアヌレートフォーム	300	18	M型	スマートフラット 光	2500	3800	
				スマートフラットプレミアム			
				スマートフラットPH			
				スマートフラット侘寂 (WABISABI)			
	385		NS型	ネオスパン 光	2000	3400	
				ネオスパンプレミアム			
				ネオスパンPH			
			FN型	デリカーブPH	1700	2400	
				ダイヤシェイプⅡ 光	1900	2200	
				ダイヤシェイプⅡ PH			
ダイヤシェイプBSⅡ	2500			4700			
硬質ウレタンフォーム	300		—	シン・スマートフラットPU	1800	2200	
	385		—	シン・ネオスパンFU	1600	1500	
			ST型	センターストライプU	1900	2200	
			iシリーズ	ソフィアルブリック	1547(※1)	1800	
				ファインボーダー	1882(※1)	1200	
			FB型	コルモロック	1900	2100	
				ネオレリーフプレミアム	1500	1500	
				ネオレリーフ			
				レフィーナウォール	1600	1800	
				影光Ⅱ	1100	1100	
				ブリック(北海道限定)	1750	—	
				F型	塗り壁	1597(※1)	2000
			パーチェウッド		1300	1300	
			368	D型	ノースウッド	1200(※1)	2400
			241	A型	—	2450	2650

※1 留付間隔は455mm

- 下表の値は補強工法での測定値(破壊:負圧)です。施工状況で変わることがありますので、設計に際しては適切な安全率を見込んでください。推奨安全率=2.0以上

破壊:負圧、単位:Pa

木下地(@500)	4250
鉄骨下地(直張り@610)	4600